

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	污水管渠整備事業						継続		
コード	24	-	77	-	01	-	00	予算事業名	污水施設整備事業
担当部署	事業推進部	下水道整備課			污水整備担当	予算事業コード	会計 02 款 04 項 10 目 10		

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務			義務
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち			実施計画事業名	污水施設整備事業	
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり			個別計画等の名称	実施計画	
施策	3	公共下水道等の整備			当事業に関連する事務事業	事業認可策定	
細施策	1	生活排水施設の整備					
事業実施の根拠となる法令・条例等	下水道法、下水道法施行令						

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	生活環境の改善及び公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全を図ります。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	下水道認可区域を対象に、公共下水道の整備をします。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	414,325	293,955	382,550	332,563	403,906	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A	402,769	259,226	381,642	290,834	403,906	530,030
人件費 B	22,011	22,011	29,348	24,946	43,288	43,288
総コスト(C=A+B)	424,780	281,237	410,990	315,780	447,194	573,318
正規職員(1年間の従事人数)	3.00人	3.00人	4.00人	3.40人	5.90人	5.90人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	74,917	26,345	55,520	20,480	45,400	37,000
その他特定財源 E	186,500	154,800	194,100	163,000	133,000	280,900
市の財政負担(=C-D-E)	163,363	100,092	161,370	132,300	268,794	255,418

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	下水道人口普及率	%	84.2	84.6	85.0	85.1	85.2
	指標の定義・説明	行政人口に対する下水道処理が可能となる人口の割合					
成果	下水道整備面積	ha	9.0	46.0	16.0	11.0	23.7
	指標の定義・説明	一年間の下水道整備面積					
	指標の定義・説明						
	指標の定義・説明						
指標に基づく評価	下水道整備面積は、年々整備が進んでいるものの、下水道人口普及率がさほど変化していない。今後、効率的、計画的な整備を図り、普及率をさらに向上させることで、公共用水域の保全と生活環境の改善に取り組む必要がある。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
単年度の事業目標と実績については順調であるが、下水道事業認可区域の下水道整備の早期実現については、財政上非常にきびしい。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
H24年度末下水道人口普及率 川越市85.1%・高崎市71.2%・宇都宮市84.0%・横須賀市97.5%・前橋市69.3%・船橋市76.9%・柏市88.1%	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
生活排水が未処理のまま用水路や排水路に流れ込み、生活環境の悪化や公共用水域の水質汚濁につながる恐れがあります。	

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		事業推進部				下水道整備課	汚水整備担当
事務事業名称		24	77	01	00	汚水管渠整備事業	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					